

特集

「日食大観望会」 in 維新百年記念公園

河野敦子（山口市）

1. はじめに

前日までに急ぎの仕事をなんとか片付け、3時間ほど休暇を取ることができました！ボランティアスタッフとして参加した博物館行事「日食を見る会」の報告をします。

主催 山口県立山口博物館、(財)山口県施設管理財団

日時 7月22日(水) 9時20分～11時00分

場所 山口市維新公園 4-1-1 (維新百年記念公園 補助競技場)

(山口市の食の始め9時40分、食の最大10時58分、食の終わり12時19分)

2. 「日食大観望会」 in 維新百年記念公園

今回は普段観察会を行っている博物館から会場を移し、約1万人収容可能(?)という維新百年記念公園の補助競技場が会場となりました(図1、2)。

いつもと場所が変わり、当日はあいにくの曇り空。また、前日までの豪雨に加え、その上、主要道路の寸断もあったため、どれくらいの参加があるかと心配されましたが、予想を上回る2,000人もの参加がありました(図3)。

参加者の中には、自作の太陽投影装置を持参する小学生もいましたが、いざ日食が始まるとそっちのけです。自由研究のための情報収集でしょうか? 報道関係者の後ろを記者と一緒にメモを持って回る子供たちも見られます。



図1 会場準備中の筆者
8cm 屈折望遠鏡を6台設置。



図2 維新百年記念公園 まるで運動会のようなのですが、この暑さにテントは必要。救護所も用意され、看護師さんも2名待機。



図3 会場の様子 日食グラスは4種類、予備も合わせて600個以上配布。

博物館職員、ボランティアスタッフ、財団職員を合わせても約 30 名。参加者の対応にぎりぎりの状態で、日食撮影どころではありません。観察用に用意していたピンホールカードやミラーボールもほとんど活躍することなく、慌てて数枚の記録写真を撮るのが精いっぱいでした（図 4、5、6）。



図 4 11 時 9 分 望遠鏡を使用しての投影



図 5 手を利用してのピンホール投影

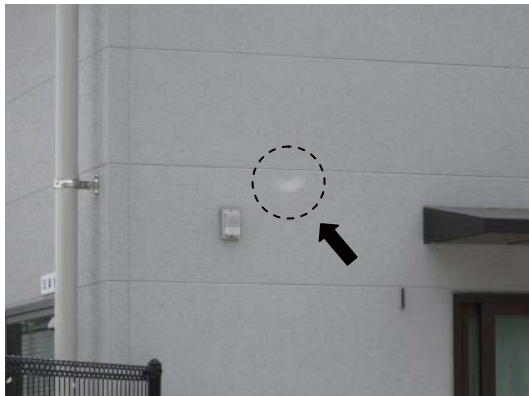


図 6 鏡を使用してのピンホール像

食の最大 10 時 58 分（87%）の様子

- ①辺りが暗くなった。
- ②気温が 2 度降下。
- ③蝉の鳴き声が止んだ。
- ④トンボが飛び始めた？

話には聞いていましたが、初めて体験する感覚で感激しました。

11 時の終了時刻になっても、観望会は終わりそうにありません。後ろ髪を引かれながらも、職場に戻ることに。

3. おわりに

最後に、当日の開会式は前日の豪雨の犠牲者への黙とうから始まりました。当日の山口市内は半数の世帯が断水、一部では停電もあったようです。

平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨での被災者の皆様にお見舞いを申し上げます。